

日本郭沫若研究会報総目録（2002年—2017年）

創刊準備号 2002年12月

岩佐昌暲 藤田梨那 武継平「日本郭沫若研究会設立のよびかけ（案）」
「日本郭沫若研究会規約（案）」
「日本郭沫若研究会成立草案（案）」
「呼びかけ人のプロフィール」
岩佐昌暲「話の弾み—〈日本郭沫若研究会〉の設立覚書」

創刊号 2003年5月

岩佐昌暲「短編小説『鼠災』をめぐって（1）」
斎藤貴代子「郭沫若と須和田の郷」
藤田梨那「解釈するということ」
武 継平「『反思郭沫若』から考えたこと」
【詩の対訳コーナー】
斎藤道彦「『女神』序詩」
藤田梨那「日の出」「梅下の酔い歌—日本太宰府に遊ぶ」
武継平「割れたガラスのコップ」
「会員研究活動の近況」

第2号 2003年8月

藤田梨那「郭沫若記念館のこと」
劉 岸偉「郭沫若と谷崎潤一郎」
垂水健一「劇的な『屈原』との再会」
斉藤孝治「郭沫若と天満佐の天麩羅」
岩佐昌暲「短編小説『鼠災』をめぐって（2）」
武 継平「郭沫若と『中日友誼蓮』」
【詩の対訳コーナー】
岩佐昌暲「燃える石炭—祖国を思う」
新谷秀明「苦い杯」「南風」

第3号 2003年12月

丸山 昇「郭沫若—その一面」
西原大輔「谷崎潤一郎と郭沫若」
竹中憲一「大連の郭老太太…郭安娜の故居」
藤田梨那「テレビドラマ『郭沫若と安娜』」
王延芳著、武継平訳「安娜と郭沫若との最後の面会」
岩佐昌暲「『私詩』としての初期郭沫若詩歌」
宮下尚子「中国の文字改革と郭沫若」
郭 偉「反復される翻訳論争」

武 継平「最新情報・活動報告・編集手記」

第4号 2004年5月

丸山 昇「郭沫若—その一面」

杉本達夫「雄渾社版『郭沫若選集』のこと」

岩佐昌暲「初期郭沫若詩『晴朝』の風景」

瀬戸 宏「郭沫若『蔡文姬』と北京人民芸術劇院」

武 継平「郭沫若と香港の縁」

小崎太一「資料の紹介」（「福岡日日新聞」1919年5月10日付 中国人留学生の動向）

藤田梨那「郭沫若についてシンガポールで講演」

事務局「北京人民大学・香港中文大学との交流」

第5号 2004年9月

丸山 昇「郭沫若—その一面」

武 継平「郭沫若の自己批判（連載）」

成家徹郎「郭沫若の古文字研究（連載）」

新谷秀明「郭沫若と巴金の間に起こったこと（連載）」

藤田梨那「天狗論」

事務局「佐賀地区第二回郭沫若シンポ開催」

第6号 2005年5月

武 継平「郭沫若の自己批判（連載）」

成家徹郎「郭沫若の古文字研究（連載完了）」

新谷秀明「郭沫若と巴金の間に起こったこと（連載完了）」

藤田梨那「市川市郭沫若記念館落成」

斉藤孝治「郭沫若—康大川—青山和夫について」

【誤植訂正】 斉藤論文の題名および本文で「青木和夫」とあるのは「青山和夫」の誤りです。謹んで訂正します。

第7号 2005年10月

杉本達夫「随想：作品の力と寿命のこと—『屈原』『四世同堂』『寒夜』にふれて」

岩佐昌暲「青島郭沫若学会参加記」

武 継平「戦前の中国文学研究会—郭沫若との関わりを中心に」

宮下正興「郭沫若の詩作とその背景—日本における四つの詩碑を通して」

第8号 2006年5月

成家徹郎「郭沫若の十二支起源研究（一）『子』」

武 継平「九大医学部『成績単』の行方」

藤田梨那「郭沫若と白楊社」

大高順雄〈翻訳〉「勝利の死」

第9号 2007年1月

成家徹郎「郭沫若の十二支起源研究（二）」
岩佐昌暲「郭沫若のロマンチズム—『炉火煤』から思いつくこと」
武 継平「丸山昇氏と郭沫若研究」
藤田梨那「郭沫若と朝鮮」
権 五明「戯曲『屈原』の中国における出版史」
大高順雄〈翻訳〉「矛盾の統一」

第10号 2008年1月

蔡震作、小崎太一訳「博多を訪ねて」
藤田梨那「医師岡田靖雄先生が語る郭沫若の思い出」
堤 清行「郭沫若先生の肉声を聴いた」 岩佐昌暲「楽山郭沫若学会参加記」
武継平訳「死の誘惑」「新月と晴海」「天の狗」「天上の市街」「大鷲」
岩佐昌暲 郭沫若研究関連ニュース／1. 蔡震中国郭沫若学会副会長九州訪問 2. フォーラム「人間郭沫若の歩いた道」開催さる 3. 九州大学医学部に郭沫若顕彰碑 4. 郭沫若九大入学九十周年記念国際シンポジウム開催計画
「資料紹介」（郭沫若から静岡県富士高校生への手紙）
「著書受贈」（篠原茂隆会員著『魯迅と郭沫若—大正期の日本に始まる文学』）
「新入会員の紹介」
武 継平「編集後記」 3

第11号 2009年2月 郭沫若研究国際学術集会特集

開会式（【開会の辞】岩佐昌暲／【祝辞】九州大学医学研究院長・高柳涼一／中国駐福岡総領事・武樹民／【歓迎挨拶】大会主席・前九州大学総長・杉岡洋一／【挨拶】北京郭沫若記念館長・郭平英／【祝電】中国駐日本国特命全権大使・崔天凱）
研究発表のプログラム
「研究発表の概要集」（【基調報告】蔡震／【報告】郭平英／岸田憲也／賈振勇／瀬戸宏／大高順雄／陳俐／横打理奈／岩佐昌暲／黄曼君／成家徹郎／李怡／廖久明／鈴木義昭／牧角悦子／朴宰雨／岳洪治／税海模／藤田梨那／魏紅珊／魏建／武継平／小崎太一／齊藤孝治／張伝敏／周海波／朱寿桐／小谷一郎（論文提出）
「ご寄付への感謝」
「編集後記」

第12号 2011年3月

河内利治（君平）「郭沫若書法管見」
岸田憲也「九州大学所蔵の郭沫若「盈盈灘水碧羅紈」詩軸小考」
藤田梨那「郭沫若文献史料国際学術討論会」及び「IGMA年会」に参加して
大高順雄「郭沫若研究会のこと」〔「郭沫若研究会（六高記念館、2010年6月5日）報告」〕
齊藤孝治「郭沫若—鄭成功—安平橋」
瀬戸 宏「国泰大戲院—郭沫若『屈原』を上演した劇場」
藤田梨那「安藤彦太郎ご夫妻と郭沫若の友情」
岩佐昌暲（研究動向）国際郭沫若学会（IGMA）成立／『郭沫若の世界』刊行／『日本郭沫若研究資料集』出版／藤田梨那訳『女神』刊行

事務局「新入会員紹介」「退会会員」「会員異動」
岩佐・岸田「編集後記」

第13号 2012年12月

横打里奈「郭沫若の旧詩体における自然との交感」
大高順雄・于亜 共編「第六高等学校創立百十周年記念論文集 郭沫若研究」
斉藤孝治「郭沫若の詩聯と河南省固始県にある鄭成功墓とのかかわりについて」
*この文章は入力ミスがありましたので、訂正済みの文を13号とは別に公開しています。
中山新也「郭沫若『女神』「序詩」、「夜」に見るマルクス主義的共産主義的世界観」
川崎馨子「資料紹介」《五十万年の死角》
藤田梨那「第三回国際郭沫若学会国際会議—郭沫若誕生百二十周年記念学会—報告」
岩佐昌暲「研究動向」郭沫若生誕百二十周年記念行事、次々に举行／『郭沫若研究文献彙要』出版／『郭沫若誕生百二十周年記念国際学術研討会』開催／『郭沫若研究年鑑』刊行・『郭沫若 学刊』第百期を迎える
岩佐昌暲「『女神』刊行九十周年記念国際学術研討会参加記」
岩佐昌暲「編集後記」

第14号 2015年12月

藤田梨那「医学・文学・身体—郭沫若を例として」
坂井洋史「一九二四年三月中華学芸社 第一周年会における郭沫若の講演を巡って」
杉本達夫「『蔡文姫』は大漢族主義の作品か—一九八〇年『草原』に現れた論議のこと—」
成家徹郎「郭沫若と傅抱石（一九〇四 - 一九六五）—日本における交流—」
執筆者紹介
香月 隆「『女神』“演奏会上、における“一个男性的女青年、の考察」
岩佐昌暲「「演奏会上」の背景」
斉藤孝治「泉州開元寺と郭沫若、弘一法師について」
Y「郭沫若の律詩「詠泉州」について」
【資料紹介】編集部「林謙三の放送原稿発表について」
林 謙三（NHK国際放送原稿）「郭沫若さんと私の『隋唐燕楽調研究』」
長谷部剛「郭沫若と林謙三について」
陳俐・（岩佐昌暲訳）「君 故郷より来る—樂山沙湾郭沫若記念館を紹介する」
編集部「日中学術研究集会「清末民国初期の来日中国人留学生と中国現代文学」について」

第15号 2016年6月

松宮貴之「民国抗日戦争期に於ける郭沫若の「書」及び「文学」の論理—郭沫若に於ける「言語」「文学」「思想」の表出としての「書」様式の史的変遷について」
蔡 震・（岩佐昌暲訳）「郭沫若の史劇『蔡文姫』創作をめぐって」
斉藤孝治「田漢、郭沫若、谷崎潤一郎の交流と継承する末裔たちについて」
【寄稿】上村京子「郭沫若「巢を失った雀」によせて」
香月 隆「付記」
編集部「郭沫若「失巢的瓦雀」と須田禎一訳「巢を失った雀」」
瀬戸宏「郭沫若の翻訳者・須田禎一の伝記—小笠原信之『ペンの自由を貫いて』」

郭 平英（岩佐 昌暲訳）「一枚の興味深い名刺」
大高順雄「郭沫若の「将」と「把」—『敝帚集』『遊学家書』『棠棣之花』『蔡文姬』—」
執筆者紹介
会務報告

第16号 2016年12月

劉 建雲「豊かな自然に囲まれた郭沫若の六高留学生活—岡山の住居に関する再検証」
魏 建（岩佐昌暲訳）「『女神』の再認識（上）」
松宮貴之「行書・贈《屈原》表演者二首を巡って」
楊 玉英（岩佐昌暲訳）「リチャード・トラップルの郭沫若・顧城比較」
山田敬三「目の上のタンコブ（眼中釘）——和解へのシグナル」
藤田梨那「『越境する中国文学・百年来の文学交流—日本留学百周年記念国際研究会議』
開催報告」
杉本達夫「「虜囚」郭沫若と自由を希求する伯夷 詩劇「孤竹君之二子」をめぐるあれこれ」
上野恵司「前口上 わたくしと郭沫若—『沫若自伝』を読む(一)」
齊藤孝治「郭沫若と李叔同（法名弘一法師）の繋がりについて」
成家徹郎「“美談”には気をつけよう」
篠原昭雄・佐藤万矢子「アジア・アフリカ図書館と郭沫若—今日的意義の観点から—」
執筆者紹介
編集後記

第17号 2017年6月

大久保洋子「郭沫若とカピール」
魏 建（岩佐昌暲訳）「『女神』の再認識（中）」
劉岸偉「北伐途中の郭沫若と蒋介石」
上野恵司「打掌心、打屁股—不打不成人—『郭沫若自伝』を読む（二）」
齊藤孝治「郭沫若と李叔同の弟子李芳遠の繋がりについて」
岩佐昌暲「2冊の著書を紹介する—『林謙三《隋唐燕楽調研究》とその周辺』、『桌子的
跳舞—「清末民初赴日中国留学生與中国現代文学」日中学術研究会論文集』（上下）
名和悦子会員・郭沫若研究資料の受贈について」
執筆者紹介